



特定非営利活動法人神奈川セルプセンター

平成 25 年度 神奈川県障害者生産活動支援事業報告書

助成事業目的

障害者が工賃のアップを通じて地域で生き生きと「その人らしく暮らす」とともに、障害者の地域生活を支える「いきがい」の場のひとつとなっている事業所が、生産活動を充実させ、支援力を高めることなどを目的として、全県域において、障害者自立支援法に規定する就労継続支援 B 型事業所等の工賃支払規定を有する事業所を対象に（以下「対象事業所」といいます）事業を実施しました。

助成事業報告

1. 売上げアップのための経営セミナー事業

(1) 希望対象事業所への中小企業診断士派遣

対象事業所に経営的視点を導入することにより、コストの削減や適正価格の設定、あるいは販売促進の強化などにより、障害者の工賃引き上げに結び付けることを目的として実施しました。

【委託先】 公益社団法人けいしん神奈川

【実施期間】 平成 25 年 8 月から平成 26 年 3 月まで

【申込数】 7 事業所

【実施回数】 合計 31 回（1 事業所につき 3 から 5 回）

【実施事業所】 ①特定非営利活動法人さざなみ会 第 2 シャロームの家（3 回）

②特定非営利活動法人きづき Cafe きづき（5 回）

③特定非営利活動法人レジスト レジスト（3 回）

④社会福祉法人すずらんの会 グリーンハウス（5 回）

⑤社会福祉法人足柄緑の会 コスモス学園中沼ジョブセンター（5 回）

⑥社会福祉法人育桜福祉会 わかたけ作業所（5 回）

⑦社会福祉法人ぐりーんろーど トロワランド（5 回）

支援要望内容

各事業所から実施にあたり、主に次のような内容について診断の要望がありました。

①工賃向上関連

②工賃原資の確保

③作業現場の管理

④販売管理・受注管理

⑤販売拠点の改善

事業所への対応

各事業所からの支援要望に対し、各事業所へ3回、あるいは5回、中小企業診断士等が事業所を訪問し、診断、アドバイスをを行いました。

1回目の訪問では、事業所側の支援要望事項の確認、実施事業の現況のヒアリング、その作業現場の視察、立地環境のチェック等を行い、支援要望事項の一部について、口頭で助言、説明を行いました。

2回目以降の訪問では、中小企業診断士等が作成した資料をもとに、アドバイス事項を説明し、実践を促し、質疑応答を行いました。

派遣を受ける事業所側の対応は、担当職員が単独で対応し、その内容を部門会議で説明する事業所や、派遣日のテーマによって異なる職員が出席する事業所、多数の職員が出席して職員研修の場とし利用した事業所等様々でした。

成果

各事業所ではおおむね以下のような成果をあげることができました。

- ①直面していた問題点解決に貢献
- ②組織内でのビジネス感覚の定着
- ③中期視点での事業の計画、展望
- ④外部連携の実体験と成果の実感
- ⑤自らを客観視するきっかけづくり

課題

本事業は今年度で6年目となり、多くの事業所がこの事業を利用してきましたが、今後これらの事業所に対して、アンケート調査等で具体的な成果を確認していくことが課題となります。

その結果をもとに、本事業の展開方法、専門家の派遣のあり方、助言指導のあり方を再検討することがポイントとなり、事業継続の有無にもつながるものと感じています。

(2) 工賃向上計画の作成についてのガイダンス

就労継続支援B型事業所等において、障害者が工賃のアップを通じて地域でいきいきと暮らし暮らす支援として行っている生産活動を、充実させて支援力を高める目的で作成する「工賃向上計画」の策定を支援しました。

【日時】 平成25年5月30日(木) 13:30から16:30

【会場】 神奈川県社会福祉会館2階講堂

【参加者】 162名

説明1	25年度県障害者生産活動支援事業の概要について(神奈川セルフセンター事務局長井出氏)
説明2	神奈川県共同受注窓口について (神奈川県障害福祉課社会参加推進グループ副主幹 佐々木氏)
講演1	『“結果”が出る工賃向上計画の考え方、使い方』 計画策定時の注意点、PDCAサイクルの重要性について(中小企業診断士 藤田氏)
講演2	『工賃向上計画書作成について』 具体的な計画書作成の方法や考え方について(神奈川セルフセンター会長松屋氏)
質疑応答	計画書提出に関する質問、工賃向上への取り組みに対する考え方や県障害者生産活動支援事業における具体的な実施内容等についての質問に応じました

(3) 視察研修

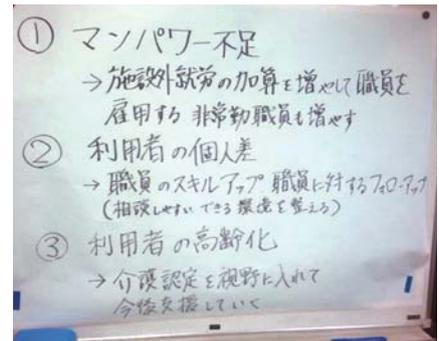
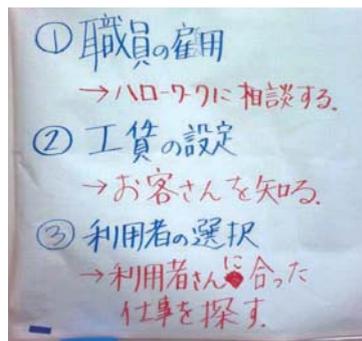
工賃向上に取り組む事業所が、同種事業で先進的取り組みにより成果をあげているモデル事業所現場を視察し、取り組みの在り方、課題解決の方法等を学ぶことにより、工賃の向上実現に資することを目的として実施しました。

【日程】 平成 25 年 10 月 30 日（水）から 12 月 11 日（水）

【回数】 3 回

【参加者】 計 27 名

研修 1	
テーマ	施設外就労
協力	社会福祉法人すずらの会 ワークショップフレンド
日時	平成 25 年 10 月 30 日（水） 10:00 から 16:00
参加者数	8 名
内容	① 株式会社パートナーズにおける施設外就労状況の視察（パンフレット等のセットアップ等の作業） ② 特別養護老人ホーム敬寿園における施設外就労状況の視察（外周清掃と緑化作業等） ③ ワークショップ・フレンドにおける施設内作業状況視察 ④ 中小企業診断士によるオリエンテーション ⑤ ワークショップ・フレンドからの、事業所概要・施設外就労取り組み状況・施設外就労に関する制度と実施体制等についての説明 ⑥ 中小企業診断士によるポイント解説 ⑦ 2 グループでのグループワークを実施し、施設外就労に取り組むための課題等の討議後、グループ毎の討議結果を発表 ⑧ 中小企業診断士によるまとめと助言



研修 2	
テーマ	受託加工
協力	社会福祉法人藤沢ひまわり 第1 藤沢ひまわり
日時	平成 25 年 11 月 14 日(木) 10:00 から 16:00
参加者数	9 名
内容	<p>①第 3 藤沢ひまわりにおける施設外作業状況の視察 (清掃・メール便配達・チラシ配布等)</p> <p>②第 2 藤沢ひまわりにおける施設内作業状況の視察 (犬用ジャッキー作り・封入作業等)</p> <p>③第 1 藤沢ひまわりにおける作業状況の視察 (組立・封入・清掃・健康グッズ製造等)</p> <p>④中小企業診断士によるオリエンテーション</p> <p>⑤藤沢ひまわりからの、事業所概要・受託加工への取り組み状況・受注作業における課題や注意点等の説明</p> <p>⑥中小企業診断士によるポイント説明</p> <p>⑦2 グループでのグループワークを実施し、受託加工の現状や課題等の討議後、グループ毎の討議結果を発表</p> <p>⑧中小企業診断士によるまとめと助言</p>
研修 3	
テーマ	自主製造・販売
協力	社会福祉法人明星会 パン工房ハッピー
日時	平成 25 年 12 月 11 日(水) 9:30 から 15:30
参加者数	10 名
内容	<p>①パン工房ハッピーより、作業ステップ、現在の作業状況についての説明</p> <p>②2 グループに分かれて、製造および販売現場の視察と、設備・作業者の配置・作業現況の説明</p> <p>③中小企業診断士によるオリエンテーション</p> <p>④パン工房ハッピーより、事業所概要・製パンへの取組状況・他との連携のあり方・出張販売の工夫・生産性および品質向上の工夫・利用者支援のポイント等の説明</p> <p>⑤中小企業診断士によるポイント解説</p> <p>⑥2 グループでのグループワークを実施し、自主製品製造販売の現状や課題等の討議後、グループ毎の討議結果を発表</p> <p>⑦中小企業診断士によるまとめと助言</p>



成果

視察研修では、終了後、参加者にアンケートを実施し、集計した結果から見えた成果は次の通りです。

- 全体的に参加者の評価が高く、好評であった。
- テーマ別の現場の視察と、それを踏まえた取り組みの説明は説得力があり、学ぶものが大きかった。
- 統一テーマで話し合ったグループワークでは、意見交換を通じて多くの点を学んだようである。特に、自分の事業所を客観視するきっかけ作りになった。
- 事業所の一般職員は、同業者との交流の場が少ないため貴重な出会いの場になった。

視察研修事業の目的との対象ということで見ると、計 27 名という限られた人数ではありましたが、「モデル事業所現場を視察し、取り組みの在り方、課題解決の方法などを学ぶことにより、工賃向上実現に資する」ことが期待できる事業所を県内に増やすことが出来たと自負しております。

課題

視察研修事業は、上記の成果の通り大きな成果があり、今後も期待されていることから、継続的に実施していくことが有効であると考えられます。

課題の一つとしては、モデル的な事業所の多様化であり、モデル的な事業所の紹介方法（現場を映像化したセミナー、ホームページや印刷

物による紹介など）を工夫して、情報に接する人たちを増やしていく必要があります。全国的に著名な事例の紹介情報は、雑誌やインターネット上で見受けられますが、身近な県内の事例と接する機会がほとんどないのが現状です。

また、一般職員の業界交流の機会の少なさが浮き彫りとなり、職員各々の資質向上、ひいては事業のレベルアップのためにも、こうした交流の場を提供する機会を増やすことが求められています。

2. 製品開発、質の向上のためのコンテスト事業

商品の付加価値を高めることにより、販売促進の一助とすること、および製品の評価により、障害のある働く人たちのいきがいや意欲の向上となることを目的として、対象事業所の自主生産品に関するコンテストを開催いたしました。

【主催】 神奈川県
 【後援団体】 横浜市健康福祉局、社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会、
 (順不同) 一般社団法人神奈川県商工会議所連合会、公益社団法人神奈川県観光協会、
 神奈川県生活協同組合連合会、公益社団法人けいしん神奈川、
 神奈川県商工会連合会、神奈川県中小企業団体中央会、
 一般社団法人神奈川経済同友会、一般社団法人神奈川県経営者協会、
 特定非営利活動法人神奈川県障害者地域作業所連絡協議会、
 神奈川県知的障害施設団体連合会、神奈川県身体障害施設協会、
 特定非営利活動法人神奈川県精神障害者地域生活支援団体連合会、
 特定非営利活動法人川崎市障害福祉施設事業協会

【実行委員会】 委員長 藤田直哉 (公益社団法人けいしん神奈川相談役)
 望月敏久 (社団法人神奈川県商工会議所連合会事業課長)
 町田貴 (公益社団法人神奈川県観光協会事務局長)
 鶴見秀秋 (神奈川県生活協同組合連合会事務局長)
 太田裕貴 (神奈川県障害福祉課主事)
 【審査委員会】 委員長 小池登志男 (公益社団法人けいしん神奈川副理事長)
 菊池英雄 (神奈川県銘菓共励会会長)
 望月敏久 (社団法人神奈川県商工会議所連合会事業課長)
 町田貴 (公益社団法人神奈川県観光協会事務局長)
 小石淑子 (神奈川県生活協同組合連合会常務理事)
 竹内幸夫 (神奈川県障害福祉課課長)
 鈴木和夫 (社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会事務局長)

(1) コンテストの開催

【日時】 平成 25 年 10 月 9 日 (水) 13 : 30 から 16 : 30
 【会場】 神奈川県社会福祉会館
 【応募数】 合計 53 点 <食品部門 /32 点、非食品部門 /21 点>
 【募集方法】 ・ 募集案内文の送付 / 平成 25 年 7 月 12 日
 ・ 説明会の開催 / 平成 25 年 8 月 9 日 神奈川県社会福祉会館にて
 【審査方法】 作品ごとの各審査員の採点合計を基に、審査員の合議により、部門ごとに最優秀賞、優秀賞、努力賞、特別賞を選定しました。

審査結果

【食品部門】			
最優秀賞	社会福祉法人長尾福祉会	セルブきたかせ	しあわせの生キャラメル
優秀賞	社会福祉法人なごみ福祉会	多摩川あゆ工房	「レゼル」のギフトセット
	社会福祉法人地域精神保健福祉会	大根工芸	秦野まどれーぬ「さくら」
	社会福祉法人借恵会	借恵いわまワークスメテオ	パウンドケーキ
	社会福祉法人すずらんの会	すずらんの家	おぐらケーキ
	社会福祉法人県央福祉会	ふきのとう舎	豆乳焼きドーナツ
努力賞	社会福祉法人唐池学園	コベルタ貴志園	高座豚プレミアムコロッケパン
	社会福祉法人大樹	豊岡就労支援事業所麦の家	開運！招き猫さぶれ
	特定非営利活動法人アスタ荏田	アスタ荏田	天使のお菓子の詰め合わせ
	社会福祉法人進和学園	サンメッセしんわ	フルーツメレンゲ
	株式会社 WAKAMIYA	就労支援 B つばさ	贈呈用セット（フロンタンクッキー、ブラウニー、6種のクッキー、コーヒー）
	社会福祉法人星谷会	海老名市第一障害者デイサービスセンター	Strawberry Jam-All Handmade
	社会福祉法人しいの実会	おかし工房しいの実	パウンドケーキセット
	社会福祉法人くるみ会	横浜光センター	さつまいもクッキーと野菜クッキーの詰め合せ
	特定非営利活動法人松の実会	地域活動支援センターみらまーる	アーモンドマカロン
	社会福祉法人こうよう会	就労継続支援 B 型事業所ジャンプ	「星と月」クッキーとクランベリーとくるみのパン
	特別賞	社会福祉法人県西福祉会	プレアデスふくらん
特定非営利活動法人精神障害者のあすの福祉をよくする三浦市民の会びあ三浦		就労生活サポートセンター三浦	マグロかつバーガー
【非食品部門】			
最優秀賞	社会福祉法人希望更生会	希望更生センター	ハマ焼き 五野草銘々皿
優秀賞	社会福祉法人開く会	共働舎	動物多肉鉢
	社会福祉法人ひばり	湘南むぎばたけ	くすのきかおる
	社会福祉法人愛川町社会福祉協議会	愛川町ありんこ中津作業所	洗えるアニマルモップ
	社会福祉法人恵友会	ほっとスペース関内	エコピカたわし
努力賞	社団法人相模原市手をつなぐ育成会	ひまわり工房	手織りポーチ
	社会福祉法人たすけあい ゆい	ソーシャルクラブハウスときわ	和紙細工ペン立て
	特定非営利活動法人だるまの会	地域活動支援センターふれんど	エコバック
	社会福祉法人ぐりーんろーど	障害福祉サービス事業所トロワランド	絞り染めてぬぐい
	特定非営利活動法人サポートひろがり	地域活動支援センターわとわ	幸せを呼ぶぞうりのタペストリー
特別賞	社会福祉法人すずらんの会	ワークショップ・SUN	デコパージュ石けん savon du Soleil

食品部門

しあわせの生キャラメル

(社福) 長尾福祉会 セルプきたかせ

最優秀賞



「レゼル」のギフトセット

(社福) なごみ福祉会
多摩川あゆ工房

優秀賞



秦野まどれーぬ「さくら」

(社福) 地域精神保健福祉会
大根工芸

優秀賞



パウンドケーキ

(社福) 借恵園
借恵いわまワークスメテオ

優秀賞



おぐらケーキ

(社福) すずらの会
すずらの家

優秀賞



豆乳焼きドーナツ

(社福) 県央福祉会
ふきのとう舎

優秀賞



アーモンドマカロン

(特活) 松の実会
地域活動支援センターみらまーる

努力賞



天使のお菓子の詰め合わせ

(特活) アスタ荏田
アスタ荏田

努力賞



フルーツメレンゲ

(社福) 進和学園
サンメッセしんわ

努力賞



贈答用セット (フロンタンクッキー、 ブラウニー 6種のクッキー、コーヒー他)

(株) WAKAMIYA
就労継続 B つばさ

努力賞



食品部門

Strawberry Jam-All Handmade

(社福) 星谷会
海老名市第一障害者サービスセンター

努力賞



パウンドケーキ

(社福) しいの実会
おかし工房しいの実

努力賞



さつまいもクッキーと野菜クッキーの詰め合せ

(社福) くるみ会
横浜光センター

努力賞



星と月 (クッキーとクランベリーとくるみのパン)

(社福) こうよう会
就労継続支援 B 型事業所ジャンプ

努力賞



開運! 招き猫さぶれ

(社福) 大樹
豊岡就労支援事業所麦の家

努力賞



高座豚プレミアコロッケ

(社福) 唐池学園
コペルタ貴志園

努力賞



たまごたっぷりシュークリーム

(社福) 県西福祉会
プレアデス ふくらん

特別賞



マグロかつバーガー

(特活) 精神障害者のあすの福祉を
よくする三浦市民の会びあ三浦
就労生活サポートセンター三浦

特別賞



非食品部門

ハマ焼き 五野草銘々皿

(社福) 希望更生会
希望更生センター

最優秀賞



動物多肉鉢

(社福) 開く会
共働舎

優秀賞



くすのきかおる

(社福) ひばり
湘南むぎばたけ

優秀賞



洗えるアニマルモップ

(社福) 愛川町社会福祉協議会
愛川町ありんこ中津作業所

優秀賞



エコピカたわし

(社福) 恵友会
ほっとスペース関内

優秀賞



手織りポーチ

(社) 相模原市手をつなぐ育成会
ひまわり工房

努力賞



和紙細工 ペン立て

(社福) たすけあい ゆい
ソーシャルクラブハウスときわ

努力賞



エコバック

(特活) だるまの会
地域活動支援センターふれんど

努力賞



絞り染めてぬぐい

(社福) ぐりーんろーど
障害福祉サービス事業所トワランド

努力賞



幸せを呼ぶぞうりのタペストリー

(社福) 開く会
共働舎

努力賞



デコパージュ石けん

(社福) すずらんの会
ワークショップ・SUN

特別賞



(2) 表彰式の開催

製品開発、質の向上のためのコンテスト「きらっと輝く製品コンテスト」は、昨年度に続き2回目の選定、表彰となりました。最優秀賞は神奈川県知事名、優秀賞は神奈川県保健福祉局長名、努力賞および特別賞は実行委員長名で表彰されました。

【日時】 平成25年12月18日(水) 13:00から14:15

【会場】 はまぎんホール ヴィアマーレ(横浜銀行本店1階)

【参加者】 計333名(福祉事業所290名、一般22名、事務局等21名)



①神奈川県保健福祉局福祉部石黒部長より主催者挨拶。②多くの受賞された事業所の方々が来場された。③ロビーにて受賞作品の即売会を行った。④最優秀賞、優秀賞受賞事業所と関係者の方々。⑤藤田実行委員長より努力賞、特別賞の表彰。⑥神奈川県黒田部長より最優秀賞、優秀賞の表彰。

3. 新しい作業分野開拓のための支援事業

【日 時】 平成 25 年 12 月 18 日（水）14：30 から 16：30

【会 場】 はまぎんホール ヴィアマーレ（横浜銀行本店 1 階）

【参加者】 65 名

【内 容】 <報告 1> 農作業と福祉

社会福祉法人光友会 神奈川ワークショップ 相原佐登美氏

<報告 2> ウェス作業

社会福祉法人南風荘 セルプ岡の辻 益原忠郁氏



目的とテーマ選定の視点

障害のある人たちが、工賃アップを通じて地域で生き生きと「その人らしく暮らす」とともに、障害者の地域生活を支える「いきがい」の場の一つとなっている事業所が、生産活動を充実させる事を目的に、新しい作業分野への参入や現在行っている作業種のさらなる活性化を目的にセミナーを実施しました。

本年度は障害のある人たちが行う生産活動・受託作業として取組事例の少ない分野「農作業」と神奈川県内では取り組みが少ない「ウェス加工、販売」について実践報告を行い、新たな作業分野の開拓に必要な情報提供、および各々が得られた気づきを自事業所に持ち帰る機会としました。

報告 1 農作業と福祉

報告者の社会福祉法人光友会 神奈川ワークショップ相原佐登美氏より、法人および事業所の概要説明の後、農地の取得から農作業の利点、課題、将来の展望等についての報告が行われました。



以下、質疑応答がありました。

- ・農作業実施に当たってのデメリットは？
 ➡ 野外作業となるので、夏の暑さが最も厳しい
- ・梅雨などの悪天候時の対応は？
 ➡ 室内で可能な農作業に関連した作業を用意するようにしている
- ・農作業における工賃アップの秘訣は？
 ➡ 現状では、工賃アップにつながっておらず、今後耕作地の拡大や生産品種を増やすなどの対応が必要と考えている
- ・現在利用者 4 名に対し職員 3 名と手厚い職員配置を行っている理由は？
 ➡ 新規事業としてチャレンジ中であり、利用者へも良い影響が出ている

・農業指導は事業所職員が行っているのか？

⇒当初は近隣の農家の方をお願いしていたが、現在は職員が勉強しながら実施しており、困った時に農家の方に相談している

報告 2 ウェス作業

次にご報告いただいたのは、社会福祉法人南風荘 セルプ岡の辻(山口県) 益原忠郁氏。

ウェス加工に関して取り組み開始のきっかけ、魅力、差別化、日本セルプセンターの支援、作業の概要紹介等について報告がありました。



以下、質疑応答がありました。

・ウェス作業実施に当たってのデメリットは？

⇒作業中に発生する塵の人体への影響等が考えられるが、作業環境の改善で解消できるものであり、デメリットを考える前にまず工賃アップを考えていただきたい

・ウェス販売拡大の経緯は？

⇒宇部が企業城下町であるという特性を活用して、大手企業の指定業者になることで信用力をつけ、その後関連企業に拡大していった

・現在ウェス部会に参加している事業所の設備規模や従事利用者数は？

⇒事業所ごとに異なり、セルプ藤山の場合は、利用者数 40 名、平均工賃は 33,000 円程度。

・説明に合った市と契約を締結して原料である古着を調達している理由は？

⇒市が回収した物品を、市から無料で引き取って、有価物として販売することが禁止されているため、有償で買い取っている

成果・結果

主な成果として次の点があげられます。

・研修目的を新規事業の開拓として、内容を「農作業」と「ウェス作業」の2点に絞っての開催において 65 名の参加者は大成功でした。

・研修内容においても、アンケートの回答より「大変良い」「良い」の回答が 80%を超えたことは、研修参加者の満足を概ね得られたと思います。

・農作業については、国の施策においても農業と福祉の連携を取り上げられていることから、昨年度に引き続き報告していただくことにしました。特に神奈川県内の事例を取り上げることで、参加者により身近な事例として共感できるような工夫をいたしました。

報告からは、社会福祉法人の農地取得から実際の取り組みまで、まだ発展途上の状況ではありますが、さまざまな工夫により直面する課題を一つ一つ解決している様子には共感することができました。

アンケートにおいても新たな作業種として取り入れた効果や実際に行わなければわからない苦労話し等、これから農作業に取り組もうとする事業所にとっては良い参考例となり、既に農作業を行っている事業所にとっても、自事業所で行っていない取り組みについて気づきを得られたとの回答が得られました。

・ウェス作業については、現在の成功状況ばかりに着目してしまうと敷居を高く感じてしまいますが、取り組み開始からの経緯は、小さな活動から始め、実践の積み重ねによって事業所の主力作業となり、全国的な展開に至っていることがわかりました。これは工賃向上への道筋が単なる思い付きによるものではなく、地道な実践の積み重ねの賜物であることを物語っていると感ずる話でした。

報告者の益原氏からは、山口県で上手くいっている事は、神奈川県の人や産業規模の大きさからして、真剣に取り組めば必ず上手くいくとの言葉をいただきました。

また、新規事業としてウエス作業を検討している、または予定している事業所に対しては、必要ならば山口での研修受け入れ、助言等、今後協力をいただけるとの心強いお言葉をいただき、手探り状態の事業所にとってはとても良い出会いの場であったと思います。

・研修の終了後には、報告していただいた講師の方々と参加者が名刺を交わしている様子が見受けられました。このことを契機に、講師と研修にされた事業所や施設との連携も進められ、セミナー開催が参加した事業所や施設の今後の展開に役立つことが期待されます。



アンケート調査結果

	大変良い	良い	普通	やや悪い	悪い
当日の会場運営	11	26	6	0	0
報告1 <農作業>	10	22	10	1	0
報告2 <ウエス加工販売>	15	20	8	0	0

4. 発注に貢献した企業への表彰事業

民間企業から対象事業所への発注を促進することを目的に、対象事業所へ業務発注をした企業などに対して表彰を行いました。

- 【内容】 対象事業所から推薦された企業内から、選定委員の協議によって表彰企業を選定
* 推薦のあった 22 事業所から 10 事業所が決定
- 【選定委員】 在原理恵 神奈川県立保健福祉大学講師
藤田直哉 公益社団法人けいしん神奈川相談役
太田裕貴 神奈川県障害福祉課主事
- 【推薦期間】 平成 25 年 8 月 19 日から 9 月 6 日
- 【選考要件】
- ・ 対象事業所へ過去 5 年間のうち、年間 100 万円以上の発注を 2 年以上していること
 - ・ 対象事業所からの推薦
 - ・ 労働関係法規を遵守していること
 - ・ 公序良俗に反する事業を行っていないこと
 - ・ 年間 50 万円以上の発注を 4 年以上実施していること
 - ・ 複数の事業所への発注で上記要件を満たしていれば対象となる
- 【選定委員会】 平成 25 年 10 月 2 日（水）9：30 から 12：30 神奈川県社会福祉会館
- 【表彰企業】
- ・ 有限会社三幸紙器製作所
 - ・ 株式会社 GS ユアサ
 - ・ ピップ株式会社南関東事業部南関東物流センター
 - ・ ジェクト株式会社
 - ・ 株式会社ニューコート
 - ・ 宿河原東住宅自治会
 - ・ ザ・パック株式会社
 - ・ 株式会社昭和紙器
 - ・ 株式会社 JCN 小田原
 - ・ フジケース株式会社
- （順不同）
- 【表彰式】 日 時 / 平成 25 年 12 月 18 日（火）13：30 から
場 所 / はまぎんホール ヴィアマーレ（横浜銀行本店 1 階）
参加者 / 342 名 * 受賞者 9 名（1 名欠席）、26 福祉事業所 290 名、一般 22 名、事務局他 21 名



5. 共同受注窓口組織設置推進事業

複数の事業所が共同して工賃引き上げに取り組む、共同受注窓口組織を設置し、県内の事業対象事業所の受注等を支援しました。この事業は、前年度の準備期間を経て、本年度より本格的に始動いたしました。

(1) 共同受注窓口事務局の設置と運営

常勤 3 名、非常勤 1 名の計 4 名を配置し、運営にあたりました。

(2) 加盟事業所数 / 182 事業所

(圏域別…横浜:55、川崎:31、相模原 8、横須賀・三浦 14、湘南東 20、湘南西 15、県央 30、県西 9)

(3) 対象事業所への登録呼びかけのための説明会

日 時 / 平成 25 年 5 月 30 日 13:30 から 16:30

場 所 / 神奈川県社会福祉会館

参加者 / 189 名

内 容 / ・神奈川県が推進する共同受注窓口組織の概要の説明
・日本セルフセンターが共同受注窓口組織で扱っている作業の紹介、他

(4) ホームページの開設

加盟事業所の作業等の情報を取りまとめ、専用ホームページにて企業、県民、行政機関などに向けて情報発信をしました。



(5) 受注実績

企業や団体等からの受注案件の契約事務および、加盟事業所への配分、納品のとりまとめ業務を行いました。

受注金額 / 3,992,936 円

受注件数 / 30 件

配分件数 / 延 69 事業所

契約主体 / 受注内容に応じて、共同受注窓口組織が行うか、もしくは加盟事業所が直接行うかを判断する。尚、県、市町村からの受注は、共同受注窓口を優先調達の発注組織として指定を受けていないため契約主体になれないことから、受注した加盟事業所が行いました。

(6) 連絡会の開催

①全加盟事業所が対象の全体会と、②各圏域の登録事業所から1事業所の担当者からなる運営委員を組織した運営委員会を、計2回を実施しました。

①【全体会】



日 時 / 平成 25 年 7 月 18 日 14:00 から 16:00

会 場 / 神奈川県社会福祉会館

参加者 / 96 名 (登録事業所職員 91 名、行政他 5 名)

内 容 / 平成 24 年度の準備活動から始まり、現在までに至る経過と、各市町村レベルでの共同受注活動について紹介いたしました。また、各圏域別に分かれて、交流や情報交換を行い、共同受注の体制づくりについて話し合いました。

②【運営委員会】

日 時 / 平成 26 年 3 月 17 日

14:00 から 16:00

会 場 / 神奈川セルフセンター事務所

参加者 / 11 名 (運営委員 6 名、事務局 5 名)

内 容 / 窓口組織の公平性の担保と組織運営の方向性について話し合う場として開催いたしました。

<運営委員>

小林貴由 夢 21 福祉会まどか工房 (横浜)

吉田昌弘 わかたけ作業所 (川崎)

大西淳子 とみに会シェーン (相模原)

小金丸良 NPO よあけ (横須賀・三浦)

青木暢彦 ふれあい活動ホーム赤羽根 (湘南東)

秋元登美子 NPO 太陽の光 (湘南西)

佐々木章吾 ワークステーション・菜の花 (県央)

安藤智美 パン工房ハッピー (県西)

小池登志男 (公社) けいしん神奈川 (外部委員)

(7) 検討会の開催

外部有識者からなる工賃アップ検討会を、下記の通り2回開催し、工賃向上にかんする意見を聴取するとともに、障害者生産活動支援事業全体の公平かつ効果的な実施に努めました。

【検討会構成員】	在原理恵	県立保健福祉大学講師 (学識者)
	藤田直哉	(公社) けいしん神奈川相談役 (中小企業診断士)
	坂口 健	アガペ第2作業所施設長 (県身体障害施設協会)
	瀬戸利彦	しんわろネッサンス施設長 (県知的障害施設団体連合会)
	菅沼久則	(社福) 秦野なでしこ会理事長 (県精神障害者連絡協議会)

①第1回検討会

日 時 / 平成 25 年 5 月 16 日 18:00 から

会 場 / 神奈川県社会福祉会館

②第2回検討会

日 時 / 平成 26 年 3 月 13 日 18:00 から

会 場 / 偕恵いわまワークス会議室

特定非営利活動法人

神奈川セルフセンター

〒 252-0804 神奈川県藤沢市湘南台 1 丁目 7-8 エスポワール 304

TEL 0466-53-7802 FAX 0466-53-7803 kyodo@kyodo-juchu.com <http://www.kyodo-juchu.com>

発行日 平成 26 年 6 月